会社概要

2021年2月末時点

社名	株式会社ローソン
所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎 イーストタワー
代表者	代表取締役 社長　竹増 貞信
設立	1975年4月15日
資本金	585億664万4千円
社員数	10,385人(連結)
事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」「ナチュラルローソン」及び「ローソンストア100」のフランチャイズチェーン展開など
チェーン全店売上高	2兆3,497億円(連結)
総店舗数（国内外合計）	18,097店舗
出店エリア	国内47都道府県・中国(上海市・重慶市・大連市・北京市・瀋陽市・武漢市・合肥市・長沙市・海口市)・インドネシア・米国ハワイ州・タイ・フィリピン

注1：チェーン全店売上高(連結)は、国内コンビニエンスストア事業、海外事業及び成城石井事業の店舗売上高の合計です(連結対象のみ)。なお、成城石井事業については直営の成城石井店舗のみを集計しています。

2：総店舗数のうち国内店舗数は、株式会社ローソンが運営するローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100、株式会社ローソン沖縄、株式会社ローソン南九州、株式会社ローソン高知が運営するローソンの店舗数の合計です。また、海外店舗数は、各地域の運営会社によるローソンブランド店舗数です。

店舗展開エリア

総店舗数(国内外合計)※ **18,097店舗**

2021年2月末時点

国内店舗数※ **14,476店舗**

北海道地方 679店舗

東北地方 1,181店舗

青森	278
岩手	182
宮城	255
秋田	182
山形	113
福島	171

関東・甲信越地方 5,274店舗

茨城	226
栃木	199
群馬	241
埼玉	695
千葉	604
東京	1,692
神奈川	1,076
新潟	230
山梨	137
長野	174

中部地方 1,720店舗

富山	183
石川	104
福井	109
静岡	281
愛知	723
岐阜	183
三重	137

近畿地方 2,541店舗

滋賀	155
京都	321
大阪	1,113
兵庫	663
奈良	137
和歌山	152

中国地方 853店舗

鳥取	136
島根	142
岡山	211
広島	244
山口	120

四国地方 618店舗

徳島	135
香川	132
愛媛	212
高知	139

九州・沖縄地方 1,610店舗

福岡	515
佐賀	75
長崎	112
熊本	160
大分	193
宮崎	111
鹿児島	199
沖縄	245

海外 3,621店舗

中国	3,344
インドネシア	68
ハワイ	2
タイ	140
フィリピン	67

※ 上記店舗数には「ナチュラルローソン」、「ローソンストア100」を含む。

グループ企業情報

2021年2月末時点

分野	会社名
国内コンビニエンスストア事業	(株)ローソン (株)ローソンストア100 (株)SCI (株)ローソンアーバンワークス (株)ローソン沖縄 (株)ローソン南九州 (株)ローソン高知
エンタテインメント関連事業	(株)ローソンエンタテインメント ローソンHMVエンタテイメント・ユナイテッド・シネマ・ホールディングス(株) ユナイテッド・エンターテインメント・ホールディングス(株) ユナイテッド・シネマ(株)
金融関連事業	(株)ローソン銀行

分野	会社名
コンサルティング事業	(株)ベストプラクティス
海外事業	羅森(中国)投資有限公司 上海羅森便利有限公司 上海楽松商貿有限公司 上海恭匯貿易有限公司 浙江羅森百貨有限公司 重慶羅森便利店有限公司 大連羅森便利店有限公司 羅森(北京)有限公司 北京羅松商貿有限公司 Saha Lawson Co., Ltd.
成城石井事業	(株)成城石井

株式会社ローソン
経営戦略本部
〒141-8643
東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎 イーストタワー
https://www.lawson.co.jp/

2021年8月発行　次回発行2022年8月予定

© 1975-2021 Lawson, Inc. All rights reserved.

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C005531 www.fsc.org
ローソンは責任ある森林管理の活動を支援しています
Printed with UV ink VOC Free
GREEN PRINTING JFPI P-D10008
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

次ページへ

LAWSON

ローソンは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

SDGs HANDBOOK 2021

社長メッセージ

皆さん、こんにちは。
2021年3月1日から、CSO（チーフ・サステナビリティ・オフィサー:最高サステナビリティ責任者）を設け、私自身がこの任に就きました。マチ、そして地球の未来のために、重要性を増すSDGsへの取り組みをよりいっそう強化していきます。
昨年の新型コロナウイルス感染症の拡大以降、お客さま、マチの価値観は大きく変わりました。ローソングループは「マチの“ほっと”ステーション」として、その変化に対応し、学童保育施設へのおにぎりの無償提供や、医療活動や子どもたちの支援のための活動などにまい進してきました。FC加盟店の皆さんからもアイデアを多くいただきました。グループ全体のマチを支えていこうという想いに、誇りを持った1年でした。
今後もお客さまの新しい生活様式に合わせ、ローソングループも変化を続け「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」というグループ理念を実現するためにまい進してまいります。
誰一人取り残さない世界の実現に向け、お客さま、マチ、地球のために何ができるかを真剣に考え、FC加盟店の皆さん、そしてグループ一丸となって社会課題の解決にチャレンジしてまいります。

グループ理念　**私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。**

ビジョン　**目指すは、マチの“ほっと”ステーション。**

ローソンWAY　ローソンは2020年に、私たちの果たす役割を明確にし、使命感及び責任感をもって、グループ理念を実現するために以下の通り、5つの新たな行動指針「ローソンWAY」を制定しました。

Contents（目次）

SDGsへの取り組みハイライト
2 2020年度加盟店SDGs表彰
6 グループ会社におけるSDGsへの各種取り組み
8 重点課題と主な取り組み／2030年・2050年目標（KPI）

おいしさのために
10 地元食材の利用とできたてのおいしさ
12 品質と社会・環境に配慮したおいしさ

人とマチが元気であるために
14 「おいしく食べて、健康に暮らす」をサポート
16 マチを元気にする健康ステーション
18 働く人を大切にする店づくり
20 マチの人たちを見守るステーション

地球（マチ）にやさしい生活を提案
22 省エネ・創エネでCO_2削減
24 レジ袋、容器包装プラスチックの削減
26 マチの人も支える食品ロスの削減
28 お客さまの安全・安心と利便性の向上

ほっと発見
商品やサービスに、あっと驚くような発見、ワクワクするサプライズがなければローソンじゃない

ほっとうれしい
キレイなお店づくりと、気持ちのよい接客で、お客さまも働いている人もうれしくなるローソンに

ほっとやさしい
ムダなことの削減や、環境にやさしい取り組み。それこそが、マチと地球と共生する新時代のローソン

全国各地のお店でSDGsへの貢献につながる「マチを幸せにする」ための さまざまな取り組みをしています。

グループ理念・事業方針「3つの約束」は、SDGsへの貢献であるとともにマチの幸せにつながります。全国各地のお店で取り組んでいる「マチを幸せにする活動」事例を募集し、「2020年度加盟店SDGs表彰」を行いました。受賞した10店舗の取り組みをご紹介します。

地域の子どもたちも先生方も喜んでくれています

松本支店 松本笹部店
オーナー **百瀬 康正** さん

牛乳パックをトイレットペーパーに有効活用

牛乳パックを集めると学校で使うトイレットペーパーに交換してもらえると聞き、マチカフェで使用している牛乳パックを洗って乾かし、小学校へ寄付しています。少しの手間で喜んでもらえますから、他店でも実践してほしいと思い、活動を継続しています。ほぼ1年間続け、約2,000パックを贈呈しました。

クルーさんはお客さまからの「ありがとう」に感動していました

東京東支店 田端六丁目店
オーナー **田丸 幸子** さん

コロナ禍で楽しみを失った子どもたちに喜びを届ける

コロナ禍でストレスをためる子どもたちや親御さんの助けになればと思い、小学生以下の子どもを対象に、コピー機で出力できるぬりえを配布し、持参してくれたら、おかずコロッケ、シャボン玉をプレゼントする企画を行いました。近隣の飲食店が協賛してくださり、シャボン玉の代金の半額を負担いただき、店内のポスターで企画を告知しました。

さまざまな取り組みを地域の方とともに実践してきました

山梨支店 南アルプス三郡店
店長 **武川 美和** さん

女性ならではの目線で、地域の子どもたちの未来を支える

保育園の遠足の際は、先生の名前を記した昼食を配達。小学校ではイベント時に店舗のトイレや駐車場をご利用いただきました。中学校では職場体験の受け入れや出張授業を行い、高校には体育祭での飲料の配達や文化祭の屋台へ参加するなど、女性目線で地域に密着した貢献をしています。

毎年授業のあとは全生徒からお礼のレポートをいただいています

岸和田支店 河内長野三日市駅前店
オーナー **佐藤 喜美夫** さん

ローソンを通して環境が学べるように、小学校への出張授業を17年間継続

17年間継続して、小学校3年生への出張授業と店舗視察の受け入れを実施しています。授業では、ローソンのグループ理念から、発注システムなどの店舗の仕組み、募金やリサイクル活動などの社会貢献活動についてお話をしています。今後も活動を通じて、子どもたちが環境について考えるきっかけになればと思っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs とは

2015年の国連サミットで採択された「SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）」。ローソングループもマチを幸せにするというグループ理念実現のため、重点課題と目標（KPI）を設定し、SDGsへの貢献に積極的に取り組んでいます。

お客さまからの
「ご苦労さま」の声が
なによりの励みです

大阪中央支店 道頓堀店
オーナー **中野 泰博** さん

安全で安心なマチになるように、美化活動と活性化の企画を実践

道頓堀商店街や地域の地蔵尊の美化活動を定期的に行っています。また、建設局、警察、区役所の立ち会いのもと、違法看板への指導や、放置自転車等啓発指導員として啓発指導を行い、安全・安心なマチづくりを率先しています。コロナ禍で苦戦する商店街の活性化のための企画立案などもしています。

今後は障がい者や
高齢者の施設へも
訪問できればと考えています

岡山西支店 倉敷福田店
オーナー **豊島 力** さん

地域の学童たちに、おにぎりやオリジナル菓子をプレゼント

2020年、ローソン本部での学童保育施設へのおにぎり配布の際、不足分のおにぎりを急きょ厨房で作ってお届けしました。これをきっかけに学童保育施設からおにぎりの注文をいただくようになりました。そのお礼に夏休みやクリスマスには、子どもたちのおやつとしてお菓子を10ケースほど差し入れしました。

「わければ資源、混ぜればごみ」
を子どもたちと学んでいます

宮城南支店 亘理山元店
オーナー **遊佐 宗之** さん

交通安全、美化活動、環境対策で地域コミュニティに貢献

1997年3月から、月2回の朝1時間、交通指導隊員として子どもや高齢者の方の横断を支援する活動を行っています。また、店舗から南北500メートルの国道のごみ拾いを定期的に実施しております。店舗で分別する資源ごみによる収益金は全額、町立の小学校と中学校に半分ずつ寄付しています。

移動販売は地域住民の方々の
安否確認や社交場にも
なっています

愛媛東店 西条ひうち店
オーナー **藤田 友明** さん

地域に暮らすお買い物が不便な方々へ移動販売を実施

もともと移動販売は、電力会社の工事現場のみで実施していましたが、買い物が不便な地域や介護施設2ヵ所へも販売を拡大しました。地元の民生委員の方々と協力して足の不自由な年配のお客さまなどへ、日配食品・飲料・菓子・ベーカリーを中心に販売を実施。移動販売を通して、地域へ貢献しています。

お客さまからの
「いつもありがとう」の
お言葉が励みになります

神奈川東支店 逗葉新道長柄店
オーナー **芝田 明和** さん

御用聞きも実践する高齢者施設への移動販売

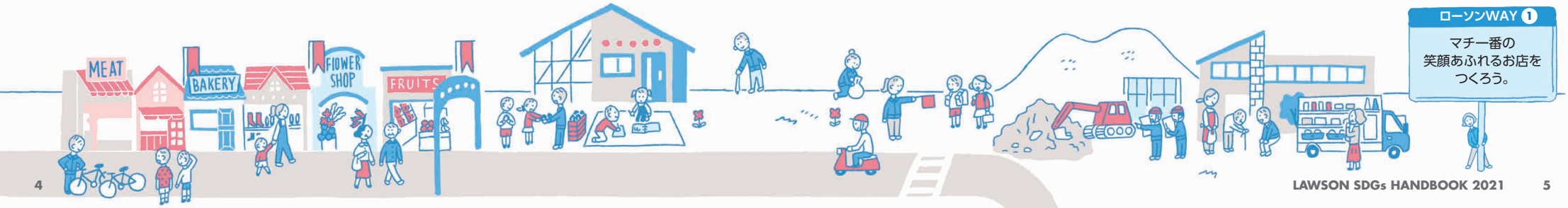
高齢者施設へ移動販売車でうかがい出張販売をしています。車いすのお客さまが多いため、常温で保存が可能な商品は、テーブルに並べてお求めいただきやすいように工夫をしています。オーナーと店長の2名で訪問することで御用聞きが可能となり、なるべくお客さまのご要望に応えるようにしています。

お客さまからの
「ご苦労さま」のひと言に
マチとのつながりを感じます

京阪奈支店 亀岡馬堀店
オーナー **山内 昌昭** さん

学びの場としても、地域に役立つ店舗づくり

中学2年生を対象に、3日間の職場体験を受け入れています。生徒さんには1日5時間のコンビニ業務を体験してもらい、毎回「よい体験ができた」と喜ばれています。活動を通じて地域の中学校とのつながりが強くなりました。また、毎日の近隣住宅まわりの清掃活動、川や商店街の定期清掃へも参加しています。



グループ各社がさまざまな地域と方法でSDGsに取り組んでいます。

省エネ対策、食品ロスの削減、プラスチックの削減など、グループ会社においてもさまざまな地域でマチに暮らす人たちと連携しながらSDGsへの取り組みを推進しています。

上海羅森便利有限公司

環境配慮モデル店舗を中国上海市に開店

2021年4月28日、上海市閔行区に環境配慮モデル店舗「ローソン七莘路1010号」をオープン。省エネタイプの冷凍機の導入や、高効率のLED照明、セルフサービスの新型電子レンジ、省エネ実行支援システムなどを採用し、電気使用量とCO_2排出量ともに2015年度比約2割の削減を目指します。

ローソンストア100

商品の売り切り推進で食品ロスを削減

「献立応援コンビニへ。」をストアコンセプトに、生鮮食品をはじめとした食料品を中心に毎日の食を提案するローソンストア100。消費期限が近づいた商品は商品分類ごとに値引きスケジュールを設定し売り切りを進めることで、食品ロスの削減に努めています。

ローソン高知

紙製容器を使用したわっぱ風おにぎりセットを販売

独自に展開する店内キッチン「える厨房」ではプラ削減のため、弁当の容器に初めて紙を使用した「おにぎりセット 梅ちりめん」(税込480円)を2021年6月15日に発売。梅ちりめんのおにぎりにささみ竜田揚げ、枝豆ふっくら揚げなどをわっぱ風の紙製容器に詰め合わせました。

ローソンエンタテインメント

社内報による情報発信とSDGs研修を実施

SDGsに対する社員の意識向上を図るため、社内報による情報発信とともに、SDGs研修を実施。2020年度は研修を計4回実施し、基礎知識からはじめ日本の課題やエンタテインメント業界の事例などを説明し、社員の理解を促進しています。

ローソン沖縄

県内の商業高校生とコラボして3種のパンを開発・販売

カスタード紅芋クロワッサン
県立中部商業高等学校

シークヮーサーパイ
県立名護商工高等学校

シークヮチーズチョコっとクロワッサン
県立那覇商業高等学校

沖縄県の産業振興を目的に、県内の商業高校生とコラボレーションしてオリジナル商品を開発する「商品開発プロジェクト」を毎年実施。2020年度は応募109作品の中から3品を選定し、県産食材を取り入れつつ、味・見た目にもこだわった3種類のパンを発売しました。

成城石井

天然由来原材料を90%配合したレジ袋の実験導入

天然由来原料であるバイオマスの比率50％のレジ袋を全店で使用しています。さらに、2021年6月21日からはバイオマスを90%配合したレジ袋（特大サイズのみ）を、一部の店舗にて実験導入。使用感等の検証を経て、10月より全サイズに拡大し、全店舗に順次導入していきます。

ローソン銀行

社員参加型のプロジェクトでSDGs活動を推進

2020年度から社員参加型のプロジェクトを発足させ、企業運営、事業、機能提供の3つの視点からSDGsの取り組みを推進。さらに、全社員がSDGsを自分ごととして考え行動することを目的に、社員4名のチームが毎月交代で社内のSDGs活動をリードしています。

ローソン南九州

鹿児島県大崎町に協力してペットボトルのリサイクルを推進

ごみのリサイクルを起点としたSDGsモデル事業を行っている大崎町に協力し、道の駅野方あらさの内のローソン大崎野方インター店でペットボトルを回収し、近隣のリサイクルセンターで再生利用しています。今後も大崎町と連携して持続可能な地域づくりに協力していきます。

持続可能な社会を実現し、
“みんなと暮らすマチ”
を幸せに

ローソンにおける重点課題と主な取り組み

事業方針の「3つの約束」をもとに、当社のバリューチェーンにおける取り組みについて、社会課題・情勢などに鑑み、重点課題を6つに分類しています。小売業にとって最も重要な安全・安心、社会インフラとしての取り組みを強調し、お客さま起点で決定しました。
また、2021年度から主要グループ企業も重点課題を特定し、目標（KPI）を立てました。ローソングループ一丸となって社会・環境課題の解決に向けて取り組んでまいります。

※ 主な取り組み・サービスについては、すでに完了したものは外し、新たなものを追加するなど、改廃しています。

事業方針	対応するSDGs目標	重点課題（マテリアリティ）	主な取り組み・サービス※（一例）
圧倒的な美味しさ ほっと発見	2 飢餓をゼロに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任	安全・安心と社会・環境に配慮した圧倒的な高付加価値商品・サービスの提供	・高付加価値のプライベートブランド（PB）商品の提供 ・まちかど厨房の展開 ・地産地消商品の企画・開発、国産食材の積極的な活用 ・社会・環境に配慮した商品の開発・販売 ・社会の変化に対応した商品・サービスの開発 ・社会（人権等）・環境に配慮したサプライチェーンの構築・運用 ・取引先との公平公正な取引の実施
人への優しさ ほっとうれしい	2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を	商品や店舗を通じてすべての人の健康増進を支援	・減塩、低糖質、たんぱく質を強化した商品の開発 ・医薬品を販売する体制づくり ・自治体との健康づくりの連携推進
	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も	働きやすく、働きがいのある環境の提供	・働きやすい店舗環境の整備 ・店舗クルーの育成、定着促進 ・オーナーサポート制度の導入
	1 貧困をなくそう 4 質の高い教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう	子どもの成長と女性・高齢者の活躍への支援	・子どもたちの未来のための募金の推進 ・子どもたちの学習を支援する環境づくり ・食品の支援を必要とする施設等への商品寄贈
地球（マチ）への優しさ ほっとやさしい	11 住み続けられるまちづくりを	社会インフラの提供による地域社会との共生	・移動販売、デリバリーサービスの拡大 ・自治体との包括協定等の締結・連携の推進 ・災害時の国・自治体と連携した被災地支援
	2 飢餓をゼロに 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう	脱炭素社会への持続可能な環境保全活動	・店舗・オフィスの省エネ化の推進 ・再生可能エネルギーの活用・拡大 ・売り切り・量り売り・消費期限の長い商品の開発等の推進 ・容器包装及び販促資材等のプラ使用量の削減 ・コピー用紙などの天然資源使用の削減

環境ビジョン「2050年目標（KPI）」
Lawson Blue Challenge 2050!
～“青い地球”を維持するために!～

CO_2排出量削減 1店舗当たりのCO_2排出量	100% 削減
食品ロス削減	100% 削減
プラスチック削減 （容器包装プラスチック） オリジナル商品環境配慮型素材	100% 使用

2030年目標（KPI）

CO_2排出量削減 1店舗当たりのCO_2排出量 2013年対比	50%※ 削減
食品ロス削減 2018年対比	50% 削減
プラスチック削減 容器包装プラスチック 2017年対比	30% 削減
（オリジナル商品環境配慮型素材	50% 使用）
プラスチック製レジ袋	100% 削減

※ 2021年6月に30%から50%へ上方修正しました

TCFDへの賛同

2020年4月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」に賛同しました。激化する気候変動問題に対応するため、気候に関連するリスクと機会を分析し、事業戦略への影響を把握して対策を検討するとともに、積極的な情報開示に努めています。

地元の名産品や旬の素材、できたてのおいしさを大切にしています。

ローソンは、地元の食材を使った商品開発やアンテナショップを通じて地域の活性化に貢献しています。また、できたてのおいしさにこだわった付加価値の高い商品を提供しています。

地元食材を使った地産地消と地産外消で地域を活性化

地元の食材を使った商品により、地産地消と地産外消を進めて地域との結びつきを深めています。さらに、自治体と提携したアンテナショップでは名産品や観光情報も提供しています。

岩手県 盛農メロンパン

県立盛岡農業高等学校と共同開発したベーカリーです。「岩手県産小麦と山ぶどうジャム、牛乳入りホイップクリーム」をサンド。盛農の校章をイメージした形状です。

愛知県 蒲郡みかんサンド

「蒲郡みかん」を大きくカットし濃厚なクリームと組み合わせた、見た目も華やかなデザート感覚のフルーツサンドです。

愛媛県 おにぎり 裸麦（はだかむぎ）入り梅ひじき

愛媛県が生産量日本一の「裸麦」を使用し、プチっとした食感と香ばしい味わいが特長です。カリカリ梅と松山ひじきを組み合わせました。

北海道 日高昆布しょうゆの焼おにぎり

北海道で親しまれている「トモエブランドの日高昆布しょうゆ」を使用した焼おにぎりです。旨みの効いた風味豊かな醤油味が特長です。お米は道産米を使用しています。

新潟県 ローソンファーム新潟コシヒカリ おにぎり弁当

ローソンファーム新潟で収穫された香りと甘みのバランスがよい「コシヒカリの新米」を使用。塩おにぎりと新潟県産「ジマンむらさき醤油」に漬け込んで焼き上げた鮭のおにぎりをセットにしました。

大阪府 泉州産たまねぎ使用 炒飯おにぎり

シンプルにタマネギと玉子だけを具材にすることで「泉州産たまねぎ」のおいしさと食感が存分に感じられるおにぎりです。

熊本県 熊本県産あか牛おにぎり（わさび入り）

赤身肉の旨みと良質でほどよい脂肪のバランスが特長の「くまもとあか牛」を使用したおにぎりです。わさび仕立ての上品な味わいに仕上げました。

地方自治体のアンテナショップを展開

地方自治体との包括協定の一環としてアンテナショップを展開し「観光振興・PR」「地元の産品・食材の拡販」に取り組んでいます。通年で営業している店舗は5自治体の7店舗です。（2021年7月末時点）

試行錯誤を繰り返しながら生まれた「温かいできたてのおいしさ」は、多くのファンに愛されています。

株式会社ローソン
商品本部 デイリー・厨房部 部長
水島 史喜

店内調理の「まちかど厨房」は、試行錯誤を繰り返しながら2013年に本格展開を開始しました。4店舗から始めたのですが、今では6,700店舗※にまで成長しています。さまざまな商品の中でも「三元豚の厚切りロースカツサンド」や「鶏の唐揚げ重」などは、店内調理でしかできない品質だと、大変人気があります。また、専門店の味を手軽に味わえるように「串カツ田中ソース使用のソースカツ丼」など、外食企業とコラボレーションした商品も販売しました。これからは、マチとお客さまのニーズをよく知るFC加盟店オーナーやクルーの皆さんの意見を取り入れた商品開発を地域ごとに進めていこうと考えています。現在は「ご当地帯広 豚丼」など、ご当地丼として地域のニーズに合った商品を毎月開発しています。「店内キッチンだからできること」をキーワードに、多くのお客さまに「まちかど厨房」だからこその価値を知っていただき、長く愛される商品サービスに育成していきたいと考えています。

※ 2021年6月末時点

三元豚の厚切りロースカツサンド

鶏の唐揚げ重

串カツ田中ソースカツ丼（三元豚ロース）

ローソンWAY 2

アイデアを声に出して、行動しよう。

ほっと発見

おいしさのベースには、品質と社会・環境への細やかな気配りがあります。

「MACHI café（マチカフェ）」のコーヒーには、品質とともに労働者や環境にも配慮した農園の豆のみを使っています。また、土づくりにもこだわっているローンファーム（農場）では、環境を守り、安全でおいしい野菜と果物をつくっています。

マチカフェは誕生から10年。これからも豆や焙煎にこだわった高品質の味わいを提供

10th Anniversary MACHI café

ブラジル・イパネマ農園の熟成豆をはじめ、コーヒー豆を厳選

※ イメージ
コーヒー豆ごとに最適な方法で焙煎したあとにブレンド

※ イメージ
本来のコクと甘みがある生乳100%使用ミルク

店内淹れたてコーヒーサービス「MACHI café」のホットコーヒーは、一粒のコーヒー豆から出荷までしっかり管理ができる4つの国※1の指定した農園・生産地域の豆（アラビカ種）を使用し、高品質で甘くやさしい口あたり、華やかな酸味とフルーティな味わいを実現しました。さらに、それぞれの豆に最適な焙煎方法で豆の個性を引き出したあとにブレンドするアフターミックス製法を採用しています。カフェラテのミルクには生乳※2のみを使い、本来のコク・甘みを味わえるようにしています。

※1 ラテ・アイス豆は5つの国　※2 生乳は加熱殺菌

コーヒー豆は、働く人にも自然環境にもやさしいレインフォレスト・アライアンス認証農園からお届け

RAINFOREST ALLIANCE PEOPLE & NATURE Coffee
詳しくは ra.org/ja

MACHI caféでは、生産者・労働者の人権向上に取り組み、生物多様性を保全し、自然資源や環境に配慮した農法を利用したレインフォレスト・アライアンス認証農園産のコーヒー豆のみ※を使用しています。ブラジルのイパネマ農園では農園労働者の労働環境を整え、子どもたちの教育を支援する取り組みを行っています。また、緑豊かな自然を守るため農園内に自然保護地区をつくっています。例えば、160を超えるハチの巣を設置し、さまざまな在来植物の受粉を促して、生物多様性を高める活動をしています。

※ シングルオリジンシリーズ、カフェインレスシリーズは対象外

健康な食生活を支えるローンファーム（農場）

お客さまの健康な食生活を支える野菜や果物をローングループの店舗に安定的に供給するため「農地所有適格法人ローンファーム」を全国17ヵ所で展開しています（2021年5月末時点）。ローンファーム各社では、作付前の土壌診断を経て作物が生育する上で理想的な土づくりを行い、作物の生育状態に応じて適切な栄養を供給することを目的とした「中嶋農法」に取り組み、おいしく健康的な野菜や果物を生産しています。持続可能な農業生産のガイドライン「GAP（JGAP,ASIAGAP）」の取得にも取り組み、品質の向上や食の安全、環境保全などの持続可能性の確保に努めています。
また、通常では店頭に並ぶことなく廃棄されることのある「規格外野菜」を加工してサラダ・漬物などに利用することで農産物の有効活用をしています。

● ローンファーム各社の中嶋農法認証品目一覧

ファーム名	認証品目
ローンファーム千葉	小松菜、大根、人参、キャベツ
ローンファーム山梨	桃、巨峰
ローンファーム愛知	キャベツ
ローンファーム兵庫	タマネギ
ローンファーム鳥取	大根
ローンファーム いちき串木野	レタス
ローンファーム薩摩	キャベツ

まとめ買いのニーズに対応。すぐに食べられる冷凍デザートを開発・販売

アップルパイ

ティラミス

ドライフルーツとナッツのカッサータ

これまで求められてきたニューノーマル対応を土台に、より「健康」・「環境配慮」・「生活応援」の要素を付加した“アフター・ニューノーマル”な商品開発を進めています。外出自粛などで一度の買い物でまとめて購入するシーンが増え、冷凍食品のニーズが高まっていることから、解凍の手間なく冷凍庫から取り出してすぐに食べられる冷凍デザートを開発・販売しました。長期の保存が可能なため、食品ロス削減にもつながります。

森を大切にするFSC®認証商品の取り扱いを拡大

責任ある森林管理の原則と基準に基づく「FSC®認証」の原材料を使用した商品の取り扱いや容器包装への採用を進めており、オリジナル品のペーパーカップやペーパープレート、飲料用の紙パックなどに使用しています。今後も拡大を計画しており、環境に配慮した持続可能な商品の取り扱い、原材料の調達に取り組んでいきます。

FSC www.fsc.org FSC® N003658 責任ある森林管理のマーク

ほっとうれしい

おいしく食べて、健康に暮らす。そんな生活をサポートしています。

糖質やカロリーを抑えたパンや塩分・添加物に配慮した弁当などの「おいしくて健康な食」と、身体の相談や医薬品の取り扱いを通して、健康な暮らしを支えています。

ローソンは「地域の健康一番店」を目指し、マチの皆さまへ向けた健康への取り組みを進めています。毎日の食を通して健康な身体をつくる「ミールソリューション」と、万が一お客さまが健康に不安を感じられた時に相談に乗り、健康維持のお手伝いをする「セルフメディケーションサポート」の二本柱で、マチの皆さまの健康で長寿な暮らしをサポートします。

商品における健康への取り組み

商品の開発・販売に当たっては、お客さまの生活課題の解決につながる糖質や塩分のコントロール、たんぱく質摂取を軸に、「よりおいしいもの」を目指し商品を作っています。

お客さまの生活課題を解決
- 朝食欠食
- 生活習慣病（糖・塩分の取りすぎ）
- 健康寿命延伸へのニーズ

▶

商品開発における健康3機軸
- 糖質コントロール
- たんぱく質摂取
- 塩分コントロール

「からあげクン」は発売35周年。国産若鶏むね肉使用でロカボ※1です

2021年4月15日に「からあげクン」は発売から35周年を迎えました。国産若鶏のむね肉と、国産小麦粉を100%使用※2し、国内の工場で徹底した品質管理のもと製造するなど、食の「安全・安心」に向けた取り組みを行っています。からあげクンレギュラー(5個入)の1個当たりの糖質量は1.6g(5個で8g)、たんぱく質量は2.8g(5個で14g)です。

※1 「ロカボ」は一般社団法人 食・楽・健康協会の登録商標です。一部ロカボに認定されていない商品があります。
※2 小麦粉製造時に同一ラインで外国産小麦を使用しており、混入の可能性があります。

糖質をコントロールしながら、たんぱく質や食物繊維が摂れる商品の提供で健康をサポート

糖質を抑えた上に、おいしさにもこだわった「大豆たんぱく」や「もち麦」を使用したおにぎりや、手軽にたんぱく質が摂れるベーカリーなど、健康に配慮した商品を提供しています。また、美と健康をテーマに原材料へのこだわりをもったナチュラルローソンブランドは、素材本来のおいしさを楽しめることはもちろん、栄養バランス等、健康を考慮した商品の独自開発を進めて、これからもお客さまの健康な暮らしをサポートしていきます。

昆布だしで炊いた鮭とわかめのおにぎり

お米の量を減らし、代わりに大豆たんぱく、もち麦を加え、糖質を約37%カットしています(日本食品標準成分表2020年版「おにぎり(うるち米)」具材なしと比較)。

NL もち麦のミルクボール 2個入

もち麦粉を入れたもっちりとした生地にミルククリームを注入しました。糖質を低く抑えられるだけでなく、食物繊維も摂ることができます。

NL ブランパン2個入

小麦粉に比べて糖質が少なく、食物繊維などの栄養成分を多く含んでいる“ブラン”（穀物の外皮）を使用しています。

NL グリーンスムージー 200g

ケールや長命草をはじめ12種の野菜118g分（1食分）を使用※し、りんごとレモンで飲みやすく仕上げています。

※ 1日当たりの摂取量の目標350g以上(厚生労働省「健康日本21」より)

ローソンWAY 4

仲間を想い、ひとつになろう。

ほっとうれしい

マチを元気にする健康ステーションです。

医療従事者への支援やワクチン接種予約の対面相談など、社会情勢の変化に合わせてさまざまな取り組みを行い、地域に暮らす方々の健康的な生活を幅広く支えています。

病院の中にある店舗だからこそ、いちばん元気があり、ほっとできる場所であることが大切です。

ナチュラルローソン 都立駒込病院店
オーナー
鈴木 俊昭 さん

病院店を経営するにあたり、私が心がけているのは、ナチュラルローソンを病院内でいちばん元気がある場所にしようということです。病院内ですから、お客さまの中心である患者さんや医師や看護師の方々に迷惑がかからないように、なるべく静かに、と思いがちですが、そもそも病院は元気になる場所、健康になるという希望を抱いて来られる場所だと思っているので、来店されるお客さまには気軽に楽しく買い物をしていただきたいと考えています。このナチュラルローソンに来るとほっとできる、そんなお店づくりを働くクルーのみんなにも意識してもらっています。現在、コロナ禍での対応には苦労も多いのですが、できる限りクルーたち一人ひとりと向き合い、「こんな中でも活気を出していこう」「仕事を楽しもう」「お客さまに満足していただこう」と伝えています。この気持ちを念頭に、前向きに希望をもって、病院の方々と一緒に今の困難な状況を乗り越えていきたいと思います。

店舗外観

介護用品や腹帯など、
病院内店舗ならではの商品を品揃え

医療従事者の方々を応援 MACHI caféの販売数に応じ寄付

医療従事者の方々を応援するため、MACHI caféの販売数に応じて、公益社団法人日本看護協会に464万6,827円を寄付しました。

ケアローソンでのワクチン接種予約をお手伝い

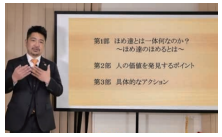
新型コロナウイルスワクチン接種の予約でお困りの高齢者の方を対象に、ケアローソン（一部店舗）の相談窓口で、端末の入力サポート等、予約に関するお手伝いを実施しました。

医薬品の販売を強化。マチの健康を支える

「ヘルスケアローソン」は、OTC医薬品やビューティ商品なども品揃えし、売場では登録販売者が薬に関する相談を受けており、好評をいただいています。

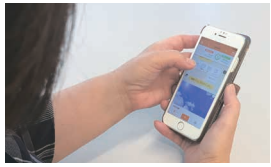
また、大手調剤薬局チェーンのクオール株式会社や、佐賀県と福岡県で調剤薬局・ドラッグストアを展開する株式会社ミズなどと共同で、調剤薬局併設型店舗を出店しています。コロナ禍に対応し、オンラインでの服薬指導や、処方箋の受け取りの実験なども行っています。OTC医薬品の取り扱いを日本の「Uber Eats」で初めて開始。風邪薬や目薬、胃腸薬などの第2類医薬品と第3類医薬品を約50種類取り扱っています。

オーナーの健康増進を支援するセミナーをオンラインで開催



ローソンオーナー福祉会の福利厚生メニューとして、健康増進を支援するセミナーを開催しています。コロナ禍により2020年度からオンライン／オンデマンドで開催しています。

本部社員の健康とコミュニケーションを推進



本部社員のスポーツ大会として携帯アプリを使用し「新幹線ウォーキング」を実施。新幹線の路線距離を想定したコース別に毎日の歩数目標を設定し、チームで毎日歩くことで、健康増進と社員のコミュニケーションの活発化を図りました。

ほっとうれしい

お客さまはもちろん、働く人も大切に思う店づくりをしています。

レジや電子レンジのセルフ化など、お客さまには利用しやすく、従業員には働きやすい多彩なサービスとサポートを推進しています。

オーナーサポート制度の導入

FC加盟店オーナーを支援するため、2020年に人材派遣業の許可を取得し、「オーナーサポート制度」を9月から導入しました。FC加盟店オーナーが冠婚葬祭やリフレッシュ休暇を取得される際に、本部社員を派遣して店舗のオペレーション業務を代行します。全国8拠点で約60名の社員がFC加盟店のフォローを行っています。

単発人財採用サービス「matchbox」を導入

2021年4月1日から、全国のローソン店舗を対象に、関連会社のローソンスタッフ株式会社が提供する単発人財採用サービス「matchbox（マッチボックス）」を導入しました。このサービスでは、店舗の裁量でオンライン上に求人を自由に出すことができ、人員が不足している時間帯のシフトや急に欠勤が発生した場合に人財のマッチングを行い、単発で人財を採用できるようにしています。

オンラインでのエリア会の開催

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、従来集合型で実施していた支店とFC加盟店オーナーとの情報共有の場である「エリア会」をオンラインで実施しています。翌月の営業面での取り組みの内容や店舗の成功事例を共有し、意見交換することで個店の運営力アップに役立てています。今後もオンラインと対面のよい点を見極めて使いわけ、本部とFC加盟店とのコミュニケーションを促進していきます。

FC加盟店との情報共有・直接対話の仕組み

FC加盟店とのパートナーシップを強化するため、全社の方針や方向性を共有する「ローソンセミナー」、そしてFC加盟店オーナーが成功体験や営業計画を共有する「エリア会」を開催しています（2020年度からオンライン開催）。さらに、FC加盟店と社長を含めた本部役員との直接対話を制度として数多く設け、最も大切な現場の声を直接聴く仕組みを構築しています。これらの取り組みにより、FC加盟店と本部が一丸となってマチを幸せにする集団となることを目指しています。

初心者用教材の活用を促進

「初めてのローソンのお仕事」という教材を作成し、初期段階で習得する基本的な店舗のルールやレジなどの接客業務を中心に新人クルー（パート・アルバイト）に教育を実施しています。さらに、FC加盟店オーナーや店長、リーダークルーなど、新人クルーを教育する側に対しては“人財育成講座”を実施し、クルーが同じ店舗で長い期間、楽しくいきいきと働けるように配慮しています。

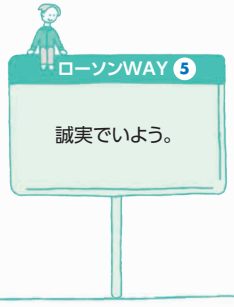
全国でセルフレジを展開

全国の店舗に設置しているPOSレジを、お客さまご自身でレジを操作するキャッシュレス専用セルフレジに切り替えることができるようにしています。コロナ禍で「人との接触を減らしたい」というお客さまや、ご自身で操作したいというニーズにお応えしています。2021年6月末時点で約6,300店がセルフレジへの切り替え※を実施しています。

※ セルフレジ利用可能時間、利用台数は店舗によって異なります。

電子レンジやファストフーズ什器をセルフ化

電子レンジやファストフーズ什器をお客さまご自身に操作していただく取り組みを一部の店舗で実施しています。「自分の好みに合わせて加温したい」「好きな商品を混雑時にも自由に選び手に取りたい」というお客さまのニーズへの対応を進めるとともに、従業員にとっては注文を受ける手間が省け、作業時間の削減につながる取り組みです。



ほっとうれしい

子どもから高齢者まで、マチの人たちを見守るステーションです。

子どもたちの夢を支える募金や、社会を体験するプログラム、安全・安心なマチをサポートする取り組みなど、ローソンはマチに暮らす人たちをさまざまなかたちで応援しています。

ローソングループ
“マチの幸せ”募金
～子どもたちの未来のために～

お客さまの想いを届ける社会貢献活動

ローソン緑の募金

寄付先　公益社団法人 国土緑化推進機構

全国の小・中学校や特別支援学校などでの学校緑化活動と、ボランティア団体が実施する森林整備活動を支援しています。FC加盟店オーナーなどが参加した事業数は1,611事業（2021年2月末時点）になりました。

夢を応援基金（ひとり親家庭支援奨学金制度）

寄付先　一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会

ひとり親家庭の子どもたちの夢を応援する奨学金プログラムです。中学3年生から高校3年生までの400名を対象に、月額3万円を給付しています。

「夢の教室」募金

寄付先　公益財団法人 日本サッカー協会

2020年度、2021年度はオンライン版で開催

2019年度から、アスリートが子どもたちに夢をもつことの大切さを伝える「夢の教室」の開催を支援しています。2020年度は22校42クラスの約1,260人に向けて授業を開催しました。

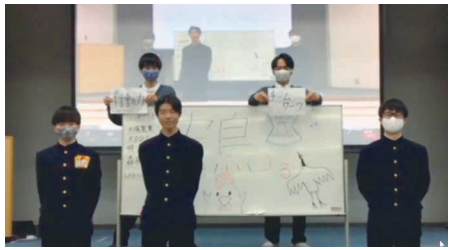
「ローソン緑の募金」を活用しお子さまが楽しめる動画を制作

森林整備活動や森林の役割を、お子さまやお客さまに紹介するため、動画を制作しています。コロナ禍で世の中のボランティア活動が延期や中止となるなか、実際の活動に参加している気分を疑似体験して楽しめるようにしています。

詳細はこちら

2021年8月制作「ポンタとリコの夏休み大冒険!」

中高生が授業で取り組む企業インターンワーク※に協力



Comment

今回この企業インターンワークに、メンバーそれぞれが自分の意見をしっかりともち、真剣に取り組むことができました。そして自分たちの考えがどんどん形になっていくのはおもしろく、楽しかったです。ありがとうございました。

ローソン賞を受賞した
甲南高等学校1年「鶴」チーム（2020年度）

中高生がインターンとして企業が出す課題に、授業の中で取り組む学習プログラム。ローソンが実際に注力している課題を提供し、オンラインで対話するなど協力しています。

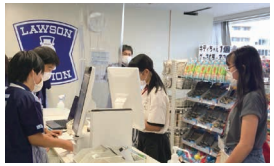
※ 企業インターンワークは、株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュートが運営しています。

キャリアメンタリングプログラムの開催

東北の高校生のキャリア開発支援

東北の女子生徒を対象にキャリア開発を支援する「TOMODACHI女子高校生キャリアメンタリングプログラム」に協力しています。2020年度は、対象を東北3県（福島に加えて、岩手・宮城）の高校1・2年生に拡大し、オンラインでの開催となりました。

仙台 スチューデントシティ※に出展



市の職業体験施設にブースを出展。授業の中で接客対応、商品陳列、売上集計業務を体験します。仕事で発生した課題について話し合い、解決することを通じて社会的自立力を育みます。2021年度は、114校、約8,600人の小学生が施設で体験する予定です。

※「スチューデントシティ」は、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本が保有する体験型経済教育プログラムです。

セーフティステーション活動への参加

ローソンは、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会（JFA）のセーフティステーション活動に積極的に参加し、“安全・安心なまちづくり”への協力や、青少年が育つ環境の健全化への取り組みなどを推進しています。

● 2020年の対応状況

高齢者の保護	女性の駆け込み対応	特殊詐欺（振り込め詐欺等）の抑止
2,615 店	1,353 店	2,319 店
深夜時間の青少年帰宅促し	**子どもの駆け込み対応**	
7,837 店	707 店	

出典：2020年度（令和2年度）版FC加盟店オーナー・店長向けアンケート（JFA）より、ローソン分のみ抽出

ほっとやさしい

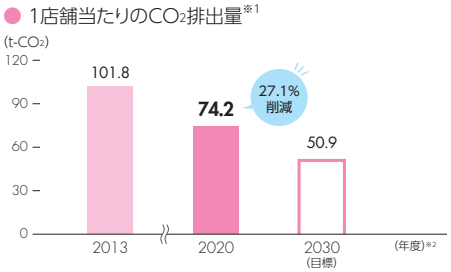
地球（マチ）にやさしい生活を提案します。「ほっと やさしい プロジェクト」

ローソンでは2020年7月から「ほっと やさしい プロジェクト」を開始し、SDGsが目指す姿に貢献するため、CO_2排出量、食品ロス、容器包装・レジ袋のプラスチックの削減などの環境課題に対応した取り組みを進め、2030年及び2050年の目標（KPI）の達成を目指しています。

ほっとやさしい

CO_2排出量削減　食品ロス削減　プラスチック削減

日本政府の2030年温室効果ガス削減目標の引き上げに連動して、ローソンも2030年のCO_2排出量削減目標を30%から50%に上方修正しました。目標を達成するため、店舗の電気使用量削減に取り組んでいます。



※1　CO_2排出量は「電気事業者別排出係数」で試算
※2　行政年度に合わせて4月1日から翌年3月31日で算定

省エネ・創エネ機器の導入

2010年度からノンフロン（CO_2冷媒）冷凍・冷蔵システム」の設置をスタートし、約4,200店舗（2021年3月末時点）に導入しました。このシステムは、フロン類と比較して地球温暖化への影響が低いCO_2を冷媒に利用しているため、温室効果ガス排出量を大幅に減少できます。また、2020年度は、全国約240店舗に12kW全量を自家消費として使用する太陽光発電設備を設置しました。今後も自家消費の太陽光発電設備を積極的に設置していきます。

省エネ10か条

店舗に設置されている要冷機器や空調機器の運転効率を向上させ、店舗全体のムダな電気使用量を削減するため、「省エネ10か条」を定め、各店舗でエアコンのフィルター清掃、温度調整などに取り組んでいます。

1. 週1回、要冷機器や空調機器のフィルター清掃
2. エアコン設定温度 夏：27℃、冬：18℃、中間期：OFF
3. 商品搬入出時に、ウォークイン・業務用冷蔵冷凍庫の扉の開閉時間を削減
4. 要冷機器・空調機器の室外機周辺の整理整とん
5. 夏場に凍らせて販売する飲料商品などは冷蔵保管してから補充
6. ホット飲料は常温で保管している商品を補充
7. 業務用冷蔵冷凍庫内への商品の詰め込みすぎに注意
8. 不在時のバックルームや倉庫の照明とエアコンOFF
9. オープンケースのエアーカーテンを守った商品陳列
10. 業務用冷蔵冷凍庫の扉の開閉回数の抑制

配送トラックにおけるCO_2排出量削減

2020年12月から、コンビニエンスストア3社及びトヨタ自動車株式会社、日野自動車株式会社の5社共同で燃料電池小型トラックの導入を目指し、取り組みを開始しました。2021年7月から東京都においてトラック1台の実証実験により燃料補給、配送、荷卸し作業における課題の洗い出しを行います。

2020年度 サプライチェーンCO_2排出量※

カテゴリ	内容	排出量（千t-CO_2）
Scope1（直接排出）	社用車のガソリン	4.3
Scope2（間接排出）	本社・エリア・支店・店舗の電力	980.7
Scope3（その他の間接排出）	仕入れた原材料（PB・NB製品、レジ袋など）	4025.7
	電力の調達に伴うエネルギー関連	144.9
	配送センターのエネルギー消費	101.0
	店内廃棄物、閉店・改装時の産業廃棄物	20.6
	ローソン本部従業員の出張	0.9
	容器・割り箸・レジ袋の廃棄	23.8
上記合計		5,301.9

※ ローソンのサプライチェーンすべてを網羅しているものではありません。Scope2は2020年度から店舗の電力を合算しています。

省エネ・創エネ機器の導入を進め、省エネ性の高い店舗を日本中に広げていきます。

株式会社ローソン
開発本部 建設部 アシスタントマネジャー
清水 雄

先進技術を結集した環境配慮モデル店舗をオープンし検証を行ってきました。これからは環境配慮モデル店舗で得た知見をもとに省エネ性の高い機器を導入し、電気使用量の見える化・店舗機器をIoT化した制御を行うエネルギーマネジメントシステムを導入した省エネ性の高い標準モデル店舗をつくり、展開していきたいと考えています。

エネルギーマネジメント画面イメージ

太陽光発電システム

ほっとやさしい

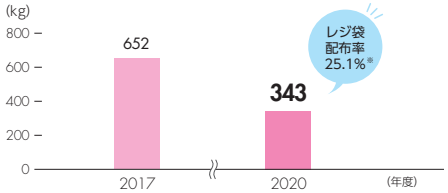
海洋プラスチックごみなどの問題解決のため プラスチックを削減しています。

プラスチックは私たちの生活にとって便利な素材ですが、プラスチックごみによる環境問題を引き起こします。ローソンは、その問題に対応するためにレジ袋やペットボトル、プラスチック容器などの削減に取り組んでいます。

レジ袋の削減を推進。携帯できるバッグの普及も促進

2020年7月1日から、地球環境を守る取り組みの一環でプラスチック製レジ袋の有料化が法令で義務付けられました。ローソンはこれに基づき、レジ袋を有料化するとともに、植物由来の素材を30%配合してプラスチックの削減に努めています。また、2007年から繰り返し使え、携帯できるバッグの普及も進めております。これらの結果、2021年2月末時点のレジ袋の辞退率は74.9%になりました。なお、直営店舗におけるレジ袋の収益金の一部を、一般社団法人全国フードバンク推進協議会にお米として寄贈しました。寄贈したお米は子どもたちの食をサポートする取り組みの一環として、食品の支援を必要とするご家庭に提供されます。

● 1店舗当たりのレジ袋使用重量
(ローソンストア100の実績を除く)

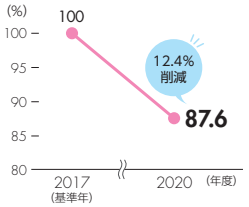


※ レジ袋配布率は2021年2月末時点の数値です。

容器包装プラスチック削減

オリジナル商品のおいしさや品質を確保しながら、プラスチックを削減するため、容器包装を紙製に変更したり、植物由来のプラスチックを使用するなどの取り組みを進めています。2020年度はMACHI caféのアイスカップなどの容器を紙製に変更しました。なお、MACHI caféでは当初から、プラ削減のためタンブラーをご持参いただくと、通常価格よりも10円お得な価格でご提供※しています。

● プラスチック製
容器包装重量(指数)



MACHI café
アイスカップ

まちかど厨房
備長炭焼き親子丼

※ セルフ店舗対象外

キリングループと協働し「ペットボトル減容回収機」設置の実証実験を開始

ペットボトル減容回収機

ペットボトル収集の様子

キリンホールディングス株式会社、キリンビバレッジ株式会社と協働し、ペットボトル再利用の循環促進を目的として、2021年7月から使用済みペットボトル容器回収の実証実験をローソン横浜新子安店で開始しました。お客さまがご家庭からもってこられたペットボトルを回収し、回収されたペットボトルを、キリンビバレッジ株式会社の自動販売機オペレーションルートを使って収集することで、プラスチック削減とともに、運搬の効率化を図り、CO_2などの環境負荷の低減も目指します。

プラスチック容器などの「使用量を減らす」から「使わない」という発想の転換へ。そこから量り売りは誕生しました。

株式会社ローソン
商品本部 ナチュラルローソン部 部長
鷲頭 裕子

ムダなプラスチック容器を使わない販売方法が量り売りです。現在、洗剤とシャンプーなどのトイレタリー商品を販売しています。ごみが出ない環境に配慮した量り売りに共感をもっていただける方も多く、量り売りがあるから来店するという新しいお客さまも増えています。2021年7月からはドライフルーツとナッツも商品のラインアップに加わり、販売店舗も5店舗から10店舗に拡大します。お客さまからは「近くの店でも量り売りをしてほしい」「少量から買えるのがよい」などの好意的なご意見をいただいています。量り売りを導入した当初の目的であるプラスチックの削減は、1ヵ月で約10kgを達成しました。
また、2021年8月から3ヵ月間、木の素材のスプーンと紙製の袋入り割り箸を提供する実証実験を実施し、プラスチックのさらなる削減に取り組んでいます。

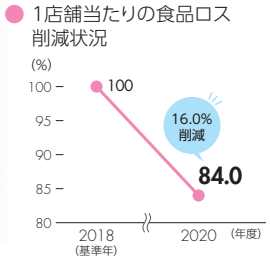
洗剤やシャンプーに加え、ドライフルーツとナッツの量り売りを開始

木の素材のスプーンと紙製の袋入り割り箸

ほっとやさしい

マチに暮らす人たちも支える、食品ロスの削減に取り組んでいます。

ムダな「食品の廃棄」を削減するために、売れ残り食品の発生をさまざまな方法で抑制しながら、食品の寄贈などを実施しています。



余剰のオリジナル商品などを支援が必要な人たちに寄贈

ローソンでは2019年8月から、店舗への納品期限が切れたオリジナルのお菓子や加工食品など※を定期的に一般社団法人全国フードバンク推進協議会に寄贈しています。2020年12月のクリスマス時期にはクリスマスケーキなどチルド品の寄贈にも取り組みを拡大しています。寄贈先の拡大も進めており、一般社団法人こども宅食応援団を通じてプライベートブランドの商品やオリジナルポンタグッズを寄贈しています。さらに、弁当と引き換えられる無料のクーポンをこども宅食のご利用者さまに配信し、店頭で直接受け取っていただく新たな試みも始めています。ローソンと外食企業がコラボレーションして開発した弁当や調理麺をご提供しました。

※賞味期限については一定の猶予をもたせております。

和栗のモンブラン

プレミアムハンバーグ

こども宅食

ポンタグッズ

みそ汁

お届けした商品数(2020年度)

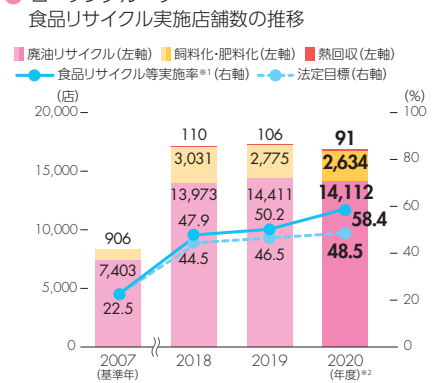
約270,000個

お届け先

支援が必要なご家庭や
児童養護施設、障がい者福祉施設など

売れ残り食品のリサイクルを推進

ローソンの店舗では売れ残り食品を1店舗1日当たり5.5kg、揚げ物に使った食用油(廃油)を同2.4kg排出しています。
食品ロス削減のため、発注数の適正化や値引き販売による売り切りを進めるとともに、売れ残り食品はリサイクル工場に搬入し、飼料(ブタやニワトリのエサ)や肥料にしています。また、廃油は飼料用添加剤(エサの材料)やバイオディーゼル燃料などに再生しています。



※1 食品リサイクル等実施率は、(株)ローソン沖縄、(株)ローソン南九州、(株)ローソン高知を除いた数値
※2 行政年度に合わせて4月1日から翌年3月31日で算定

値引き販売による「売り切り」を実施

店舗での売れ残り商品を削減する取り組みの一環として、POSレジの値引きキーと消耗品登録している値引きシールを活用した値引き販売を推奨しています。消費期限の短い中食商品や店内調理のファストフーズ、厨房商品などを、全体の約8割の店舗で値引き販売を実施しています(2020年度実績)。

千駄ヶ谷一丁目店

鮮度を保ち本来の味わいがあるチルド弁当は、食品ロスの削減にも貢献

竜田揚げ弁当やビーフハンバーグ弁当など定番の常温弁当(20℃前後の温度で陳列・販売)を、より素材の鮮度を長く保ち本来の味わいを提供することができるようにチルド化(5℃前後の温度で陳列・販売)し、「これが弁当」として展開しました。チルド化することで味わいのみならず、店舗での販売時間が長くなるため食品ロスの削減につながります。

販売時間が長くなります!

常温 約18時間 ▶ チルド 約66時間

これが鶏竜田揚げ弁当

これがビーフハンバーグ弁当

日常生活から災害時まで、いつでもお客さまの安全・安心と利便性を考えています。

デリバリーや移動販売、ローソン銀行ATMなどで日々の暮らしを支えるとともに、災害時にはマチのライフラインとして地域に暮らす人たちの安全・安心を支えます。

大規模災害への備えと対応

災害への備えとして、緊急時のマニュアルを整備しているほか、FC加盟店及び本部従業員の安否確認を重視し、年3回の防災訓練で災害用伝言ダイヤル・自社の安否確認システムなどの手段を体験することで、スムーズな対応を取れるようにしています。災害発生時には、本社・エリアオフィス・被災エリアを管轄する支店の3ヵ所に災害対策本部を立ち上げ、店舗の復旧や営業の早期再開を目指します。

大規模災害などの発生時は、全国からお寄せいただいた募金をお届けしています。

大規模な災害が発生した際、店頭募金を災害募金に切り替え、被災された方に全国のお客さまからの善意をお届けするお手伝いをしています。お寄せいただいた善意は、各地の災害対策本部や日本赤十字社などを通じてお届けしています。

災害発生時における自治体等との連携

災害が発生した際に被災した自治体や一部の公共機関と協力し、マチのライフラインとしての機能を果たすことができるよう、物資の供給や帰宅困難者を支援する協定の締結を進めています。

災害時物資供給協定の締結先
- 自治体：47都道府県 23市区
- 公共交通機関等：11機関
- 電力会社：4社
- その他：東京消防庁、陸上自衛隊、燃料会社

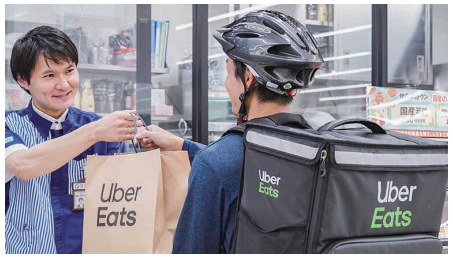
帰宅困難者支援協定の締結先
- 自治体：43都道府県 10政令都市

（2021年2月末時点）

コロナ禍における店舗の感染予防への取り組み

ローソンはお客さまに安心してお買い物いただくことと、店舗で働く従業員の安全を第一に、新型コロナウイルス感染症の予防に取り組んでいます。従業員のマスク着用をはじめ、レジカウンターへのビニールシート設置、アルコールスプレーの設置、金銭授受時のトレー利用、店内換気の徹底などに努めています。

デリバリーサービスの拡大



ローソンは2019年8月から、日本のコンビニエンスストアで初めて「Uber Eats」のサービスを開始しました。弁当・おにぎり・店内で調理したフライドフーズ・デザートなど、コンビニエンスストアならではの商品を約350種類取り扱っています。日本の「Uber Eats」では唯一、OTC医薬品（一部店舗で導入）を取り扱っています(2021年5月31日時点)。「food panda」、「Wolt」のサービスも開始し、デリバリーサービス取り扱い店舗数は30都道府県の約1,900店舗となります（2021年6月末時点）。

高齢者の施設等に移動販売で訪問

店舗への来店が困難な高齢者の施設や企業・工場などを訪問し食品や日用品などの移動販売を実施しています。また、自治体などと連携し、買い物困難エリアへの移動販売や高齢者の方々へ声かけをする「見守りサービス」も行っています。

ローソン銀行ATMで「PayPay」への現金チャージが可能に

ローソン銀行のATMは、都市銀行・地方銀行・ネット銀行をはじめ、ほぼすべての金融機関のカードで現金の出金などが可能です（提携金融機関数377社<2021年6月末時点>）。また、2021年4月から、キャッシュレス決済サービス「PayPay」への現金チャージが、入金手数料無料で原則24時間365日できるようになりました。

簡単な操作で荷物を発送できる「スマリボックス」を拡大

オークションサイトやフリマアプリなどの拡大に伴い、既存の物流網を活用し非対面で荷物を発送するサービス「スマリボックス」の設置を拡大しています。2021年6月末時点で約3,000店舗に「スマリボックス」を設置し、EC商品やレンタルサービスの返品・返却を受け付けるサービスと、オークションサイトやフリマアプリの出品商品を発送するサービス「e発送サービス」の2つの荷物を取り扱っています。